

第4期財団法人こしじ水と緑の会事業報告

(平成15年10月1日～平成16年9月30日)

はじめに

第4期も前期に引き続き、当財団の基本姿勢であるグローバルな視点に立ち、地域に根ざした地道な活動を基本姿勢として、(1) 自然環境の保全活動および研究活動に対する助成と(2) 財団独自の諸活動を事業の2つの柱として諸事業を実施した。なお、独自事業では里山再生への試みとして「越路モデル」の具現化を目指した活動を開始した。また、渋海川の河川流域調査を新潟大学工学部へ委託した。

1. 助成事業

(1) 一般助成(公募を行い、選考委員会で決定)

当財団の第3回目の助成事業を「第3回財団法人こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」として実施した。応募期間は、平成15年11月1日から平成16年1月31日まで。専用の申請書により受付けた総数27件の内、選考委員会にて15件の助成先を決定した。なお、選考委員会の審議の過程で助成申請額を一部減額したものもある。平成16年4月3日に財団事務所所在地にて助成金交付式を開催し、助成先に対して、助成決定書を授与すると共に、4月12日に各助成決定先へ助成金を交付した。

助成総額は380万円であった。

(2) 特別助成(緊急に助成が必要な事業に対し、選考委員会で決定)

第4期事業計画書に盛り込まれていた「特別助成」は該当案件がなく、実施を見送った。

「第3回(財)こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」助成先一覧(一般)

申請受付順(敬称略)

| No. | 団体名 | 決定額 | 活動名 |
|-----|--------------------------------|---------|--|
| 1 | 柴田 治 | 300,000 | 「吉祥嶽」の調査・研究と自然保護・啓発活動 |
| 2 | 朝日村立塩野町小学校 | 300,000 | 朝日エコレンジャー |
| 3 | 環境教育東北ミーティング 2004年新潟大会組織委員会 | 240,000 | 環境教育東北ミーティング 2004年新潟大会 |
| 4 | 「セナミスミレ」を育む会 | 210,000 | セナミスミレの保護増殖及び啓発活動 |
| 5 | 佐渡花の島プロジェクト畑野 | 200,000 | 休耕田活用里山・里地の動植物保全モデル事業(栗野江休耕田と国仲平野をつなぐ花の回廊拠点づくり) |
| 6 | NPO法人 新潟水辺の会 | 300,000 | 身近な水環境の全国一斉調査の広報 |
| 7 | 風間善浩 | 210,000 | 西川の自然観察会と特別企画(絵画展とフォーラム)の開催 |
| 8 | NPO法人 ねっとわーく福島潟 | 300,000 | 新潟県内の水生貴重植物の分布と保存・再生 |
| 9 | NPO法人 溪流再生フォーラム | 210,000 | 佐渡島及び柏崎 前川の陸封型ヤマメの保護・増殖事業 |
| 10 | 松之山町野鳥愛護会 | 240,000 | アカショウビンの森づくり |
| 11 | NPO法人 ナチュラルフェローズ | 210,000 | 子どものための自然学習教材づくり事業/越路町の両生・爬虫類からみる農村環境の維持管理のためのパンフレット |
| 12 | NPO法人 エコロジーネットワーク | 210,000 | ふるさとの野生草花再生プロジェクト |
| 13 | 山本 麻希 | 270,000 | 粟島におけるオオミズナギドリの生態調査 |
| 14 | 環境NGO 魚沼フィールドミュージアム協会 | 300,000 | 平成16年度魚沼地域湖沼外来魚調査プロジェクト |
| 15 | 小野 健 | 300,000 | 梅海新道自然解説ガイドブック作成 |

2. 調査研究事業

(1) 里山の保護・保全活動

山林の荒廃に代表される「里山問題」について、中静理事から提言をいただいた「越路モデル」の研究の在り方を深めることを目的として、第3期の開催に引き続き懇談会を催した。

事業名：越路の里山を考える会

期 日：平成16年7月5日（月）～6日（火）

会 場：朝日山荘

出席者：当財団理事、地元林業家、地元製材業者、有識者を含め9名の参加

3. 普及啓発事業

(1) 水辺環境の保護・保全活動

第3期に引き続き、開催計画された第2回交流ワークショップは中止とした。

(2) 水と緑を尊ぶ心を育てる自然学校事業

環境教育に関する事業として、子どもから大人までを対象に、「水と緑の自然学校」を県内各地にて、3月より9月まで全7回を計画し、内6回を実施した。9月のキャンプは台風余波の影響を受け、最小募集人数を割り、第5期へ延期とした。

参加者総数：当期172名（第3期108名、前年対比159%）

当期 子ども 61名 前期 子ども 47名

大人 111名 大人 61名

○自然学校の開催実績

| 期 日 | 内 容 | 事業連携団体 | 行 程 |
|----------------|------------------------------|-----------------|------|
| 平成16年3月6日～7日 | 雪と遊ぶ自然学校 | 雪だるま高原キュービットパレイ | 1泊2日 |
| 平成16年3月6日～7日 | おもいっきり！雪あそび！！里山ワンダーガーデンへようこそ | 魚沼フィールドミュージアム協会 | 1泊2日 |
| 平成16年5月16日 | 新津丘陵自然学校 | 新潟県自然観察指導員の会 | 日帰り |
| 平成16年5月30日 | 福島潟自然体験 | NPO 法人ねっとわーく福島潟 | 日帰り |
| 平成16年6月19日～20日 | 親子で楽しむ自然体験学校～センスオブワンダー～ | 新潟県森林インストラクター会 | 1泊2日 |
| 平成16年8月21日～22日 | 行ってみよう！子ども樹木博士学校 | 新潟県森林インストラクター会 | 1泊2日 |

(3) イベントスタッフ制度の運用

事業名：(財) こしじ水と緑の会「イベントスタッフ」登録制度

期 間：毎年4月1日～翌年3月末日までの1年間

登録者：平成16年度 41名

財団支援活動：第1回自然保護助成基金成果発表会 参加10名

研修活動：草笛に集う会へ参加 4名

(4) 会報を年4回定期発行する。

①平成15年10月25日 第9号発行（A4版） 1,000部

②平成16年 1月20日 第10号発行（A4版） 1,000部

③平成15年 4月20日 第11号発行（A4版） 1,000部

④平成15年 7月15日 第12号発行（A4版） 1,000部

(5) 当財団の目的・活動内容等を記載したパンフレットの作成及び配布をおこなった。

| | | |
|-----------------|-----------|---------|
| ・財団法人パンフレット | A 4 (三つ折) | 10,000部 |
| ・水と緑の自然学校パンフレット | A 4 (三つ折) | 7,000部 |
| ・ 〃 チラシ (計4団体) | A 4 | 5,600部 |

4. 会員募集

(1) 第4期末(9月30日現在)の会員数は以下のとおりである。

| | | |
|-------|------|-------|
| ①個人会員 | 642人 | |
| ②法人会員 | 93法人 | 計 735 |

(参考) 第3期末(9月30日現在)の会員数

| | | |
|-------|------|-------|
| ①個人会員 | 618人 | |
| ②法人会員 | 76法人 | 計 694 |

5. 収益事業

第3期事業計画書に盛り込んだ収益事業を以下の通り実施した。

(1) 財団所有の建物を一部賃貸する建物賃貸契約を朝日商事株式会社と結び、平成14年10月より賃貸料収入を得た。

当該の賃貸料収入額は、693,000円であった。

(2) 朝日酒造株式会社の迎賓館「松籟閣」とその敷地管理業務を前期に引き続き受託し、受託金収入を得た。(平成15年10月1日～平成16年9月30日)

当該の受託金額は、3,780,000円であった。

6. 土地取得のための積立て

第4期予算書の土地取得のための引当金額の積み立てを行なった。

山林取得積立預金 3,000,000円

7. 基本財産の充実

財団の健全運営を目的として、会員拡大と平行して寄付を募った。期末(9月30日現在)の寄付合計は以下のとおりである。

| | | |
|---------------|------------|-------------|
| (1) 法人寄付 | 14件 | 421,910円 |
| (2) 個人寄付 | 37件 | 290,576円 |
| (3) 朝日酒造(株)関係 | 47件 | 18,202,942円 |
| 合 計 | 98件 | 18,915,428円 |
| | うち基本財産への繰入 | 15,344,000円 |

以上